

# 評 定 申 込 書

一般財団法人 日本建築センター  
理事長 松野 仁 様

申込者

会社名 ①

代表者名 ①

所在地 〒  
電 話

下記について評定を申し込みます。

評定区分	区分	I. II.	<p>常に最新の様式を当財団ホームページよりダウンロードしてご利用ください。</p> <p>記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。</p> <p>また、申込者が法人である場合には、原則として申込企業の代表権を有する方の署名又は捺印をしてください。</p>	
	その他			
件名				
関連法令 (告示区分)				
連絡先	会社 所在地 課 フリ 担当 電 e-Mail			
評定手数料請求 (会社名のみ記)				
請求書送付 (連絡先と違う 住所も記入の				
評定完了後の集計 報の開示諾否			<input type="checkbox"/> 諾 <input type="checkbox"/> 否	

## 案件情報の開示について（お願い）

当センターでは、審査が完了した案件の概要について、ホームページ及び機関誌「ビルディングレター」に案件情報を掲載させていただいております。

掲載する内容は次のとおりです。

つきましては、掲載に際しまして申請者の許可をいただきたく、お手数ですが申請書又は申込書の「性能評価又は評定完了後の案件情報の開示諾否」欄に開示の諾否についてご記入をお願いいたします。

業務種別	案件種別	開示内容
評 定	建築物	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者、設計者、施工者、構造形式、階数、軒高（高さ）、延べ面積、建設地
	建築物等の設計要綱	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者、適用範囲
	杭	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者、杭種、杭径、種類、製造工場
	鉄筋継手工法	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者、工法概要、適用鉄筋種類、適用鉄筋径、ふし形状
	上記以外の建築物に用いる部材・部品、構工法等	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者、部材・部品又は構工法の概要、適用範囲
	防災性能	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者、設計者、施工者、構造形式、建物用途、階数、高さ、延べ面積、建設地
	防災機器	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者、種類（防火ダンパー、防火シャッター等）
	建築防災計画	評定番号、評定完了年月日、件名、申請者名、設計者名、建物用途、階数、高さ、延床面積、建築場所
	浄化槽 （単位装置評定）	評定番号、評定完了年月日、件名、申込者、種類（ばっ気装置、スクリーン等）
	FRP	評定番号、評定完了年月日、件名、申込者、成形方法
	昇降機	評定番号、評定完了年月日、件名、申込者、駆動方式

《様式2》

- 部会での担当評定委員からの指摘事項等に対する変更・訂正する資料（部会訂正資料）は、当該様式を参考に作成し、当該様式を表紙とし、後ろに、該当する変更・修正する資料を添付して下さい。
- 部数、提出期限等は担当者にご確認下さい。

指摘事項回答書

委員会・部会 第 回	日時	平成 年 月 日	場所		評定委員	
件名				出席者	担当職員	
					申請者	
提出資料						
指摘及び検討事項(質問等も含む)			回答及び処置			備考

## 取り下げ届

年 月 日

一般財団法人 日本建築センター  
理事長 松野 仁 様

申込者の住所又は主たる事務  
所の所在地  
申込者の氏名又は名称 印

1. 申請年月日 年 月 日

2. 当該申込に係る業務及びその対象

上記による申込については、下記の理由により申込を取り下げたく届け出ます。

(理由)

(注意)

- ① 申込者が法人である場合には、代表者の役職及び氏名も併せて記載してください。
- ② 氏名（法人の場合にあっては、代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略できます。
- ③ 不要な文字は、抹消してください。
- ④ 当該申込に係る業務及びその対象欄では、当該申込に係る件名等を記載してください。

## 評定申込事項

1. 申 込 者                   社 名：  
                                  所 在 地：〒  
  
                                  電話番号：  
                                  代表者名：  
                                  担当者名：  
                                  部 課 名：  
                                  連絡場所：〒  
                                  電話番号：

2. 浄化槽の型式

3. 設計者（社名）：

4. 製造管理者（社名）：

5. 施工管理者（社名）：

各槽の寸法及び容量表(例)

槽の名称	最小板厚(mm)				外径 (mm)	内径 (mm)	長さ (mm)	高さ (mm)	槽容量 (m <sup>3</sup> )	リブ数	リブの 間隔 (mm)	仕切板 数(枚)
	円筒部	鏡部	仕切板	開口部 立上り								
円筒形横 置槽	9.0	10.0	10.0	10.0	2518	2500	5640～ 11190	2850	17.88 ～ 42.50	2～6	790～ 1140	0～3

槽の名称	最小板厚(mm)				外形 (mm)	内径 (mm)	高さ (mm)	槽容量 (m <sup>3</sup> )	リブ数	リブの 間隔 (mm)
	円筒部	ホッ パー部	上板	開口部 立上り						
縦置槽 (沈殿槽)	7.0～ 7.5	7.3～ 8.2	9.0～ 10.0	5.0	2064～ 2415	2050～ 2400	3100～ 3250	5.02～ 6.80	6	400～ 675

使用材料(FRP部分)及びその許容応力度(その1)<sup>※1</sup>

※3 使用部位								
成形方法								
※3 ガラス基材構成								
※3 ガラス含有率 (W/F%)								
板厚(mm)	底面	(最小板厚)+	(誤差)	底面	(最小板厚)+	(誤差)		
	側面	(最小板厚)+	(誤差)	側面	(最小板厚)+	(誤差)		
	リブ	(最小板厚)+	(誤差)	リブ	(最小板厚)+	(誤差)		
樹種/着色材								
材料特性	試験値	許容応力度及び設計用数値		試験値	許容応力度及び設計用数値			
		長期	短期		長期	短期		
引張強さ (MPa)		許 容 応 力 度			許 容 応 力 度			
曲げ強さ (MPa)								
引張せん断 (MPa)								
T型はく離 (MPa)								
引張弾性率 (MPa)		※2			※2			
曲げ弾性率 (MPa)		設 計 用 数 値			設 計 用 数 値			
ポアソン比								
備考	・試験機関名を記述する。 ・試験体の板厚を記入する。							

※1 等方性材料に関しては本用紙を使用する。

※2 材料試験値を記入する。

使用材料(FRP部分)及びその許容応力度(その2)<sup>※1</sup>

※3 使用部位								
成形方法								
※3 ガラス基材構成								
※3 ガラス含有率 (W/F%)								
板厚(mm)	底面	(最小板厚) + (誤差)	底面	(最小板厚) + (誤差)	底面	(最小板厚) + (誤差)	底面	(最小板厚) + (誤差)
	側面	(最小板厚) + (誤差)	側面	(最小板厚) + (誤差)	側面	(最小板厚) + (誤差)	側面	(最小板厚) + (誤差)
	リブ	(最小板厚) + (誤差)	リブ	(最小板厚) + (誤差)	リブ	(最小板厚) + (誤差)	リブ	(最小板厚) + (誤差)
樹種/着色材								
材料特性	方向	試験値	許容応力度及び設計用数値		方向	試験値	許容応力度及び設計用数値	
			長期	短期			長期	短期
引張強さ (MPa)	周方向		許容 応 力 度		周方向		許容 応 力 度	
	軸方向				軸方向			
曲げ強さ (MPa)	周方向				周方向			
	軸方向				軸方向			
引張せん断 (MPa)								
T型はく離 (MPa)								
引張弾性率 (MPa)	周方向		※2		周方向		※2	
	軸方向				軸方向			
曲げ弾性率 (MPa)	周方向		設 計 用 数 値		周方向		設 計 用 数 値	
	軸方向				軸方向			
ポアソン比	周方向				周方向			
	軸方向				軸方向			
備考	・試験機関名を記述する。							
	・試験体の板厚を記入する。							

※1 異方性材料に関しては本用紙を使用する。

必要がある場合には、せん断弾性率を記入する。

※2 材料試験値を記入する。



## 建設地条件

長期許容地耐力		kN/m <sup>2</sup> 以上
垂直最深積雪量		m以下の地域
積載荷重		N/m <sup>2</sup> 以下
最高地下水位	地盤面下	cmまで
設置方法		
基礎床板の位置 (最深埋設時)	地盤面下	m

## 使用材料及びその構造 (FRP部分以外)

名称	構造種別	材料の品質		許容応力度 (MPa)		寸法等
				長期	短期	
基礎底盤	RC	鉄筋	SD			
		コンクリート	F <sub>c</sub>			
補強リブ						
浮上防止装置						
補強リング						
架台						